

富士心身リハビリテーション研究所附属病院連携施設 精神科専門医研修プログラム(富士リハビリ病院)

1 はじめに

富士心身リハビリテーション研究所附属病院は1970年の開設以来、長年にわたり精神神経科を主とした診療を行う中で、高齢者人口の増加に伴い介護老人保健施設を開設、さらに認知症治療病棟を設け認知症に対する医療・介護に取り組み、静岡県東部の富士・富士宮地域の精神医療に貢献してきました。また、富士宮市の中核的な医療機関である富士宮市立病院の初期研修医の継続的な受け入れと病診連携を積極的に行うほか、地域の輪番事業計画に基づいた措置入院、他病院の措置鑑定の依頼にも応じています。このため、統合失調症や気分障害などの精神病から認知症まで幅広い精神科領域疾患の診断・治療と、精神保健福祉法についての基礎的かつ専門的な知識を臨床経験豊富な指導医の下で習得できるプログラムとなっています。



プログラム統括責任者 富士心身リハビリテーション研究所附属病院 院長 引場 智

2 目的

十分な臨床的な知識を習得することは重要であるが、治療至上主義に陥ることなく人権を尊重し、患者の心に寄り添うことができる精神保健指定医・精神科専門医となることを指導目標として、本プログラムは今までの実績を踏まえ、民間精神科病院の特徴を生かし、地域医療を中心とした精神医学を共に学ぶことを目的としている。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

富士心身リハビリテーション研究所附属病院（略称名：富士リハビリ病院）

(2) 専門研修連携施設

● 連携施設1：東京医科大学病院

2016年に創立100周年を迎えた東京医科大学。東京都新宿区という都心の特定機能病院として医療を提供し、メンタルヘルス科は約60人/月の患者にコンサルテーション・リエゾンサービス（CLS）を行う。当科の診療スタンスは「目の前にいる患者は全て診る」というところにあり、新宿という立地と地域の医療機関との連携、現代のストレス社会において常に「こころ」は影響を受けることから、様々な精神的反応や症状を呈した多彩かつ十分数の患者が集まる。こうした事例に対応するリエゾン精神医療は医学が高度になるほど大切なものとなり、その知識は全ての臨床医に必要といえることから、将来、臨床医を目指す学生が身体疾患のみならず精神面への配慮を常に行い、全人的医療を行っていけることを望んでいる。疾患の地域的な特性、患者の性別や年齢、生活環境、職業、精神病理構造など様々な因子を各施設間で比較検討し、これらを学術的な研究に発展させて学会発表や論文作成とすることも可能である。

● **連携施設 2：日本平病院**

政令指定市である静岡県静岡市清水区にあり、介護老人保健施設と就労継続支援B型事業所を構えており、医療・介護・福祉の3本柱が有機的に連携し地域住民の安心な生活に寄与している。また、病院独自の共同住居も運営しており、精神科デイケア・精神科訪問看護を含めたサービスで精神障害者の単身生活をサポートしている。

● **連携施設 3：前沢病院**

栃木県南端の足利市に位置し、精神科病院を中核に各種関連施設が整備されており、主に「維持・回復期にある精神疾患患者の社会復帰・地域生活支援」と「認知症高齢者の治療と介護」に力を入れて取り組んでいる。それぞれの事業の専門性を生かしながら様々な形で在宅療養から入院治療までのサポートを実践している。

4 専攻医受入数

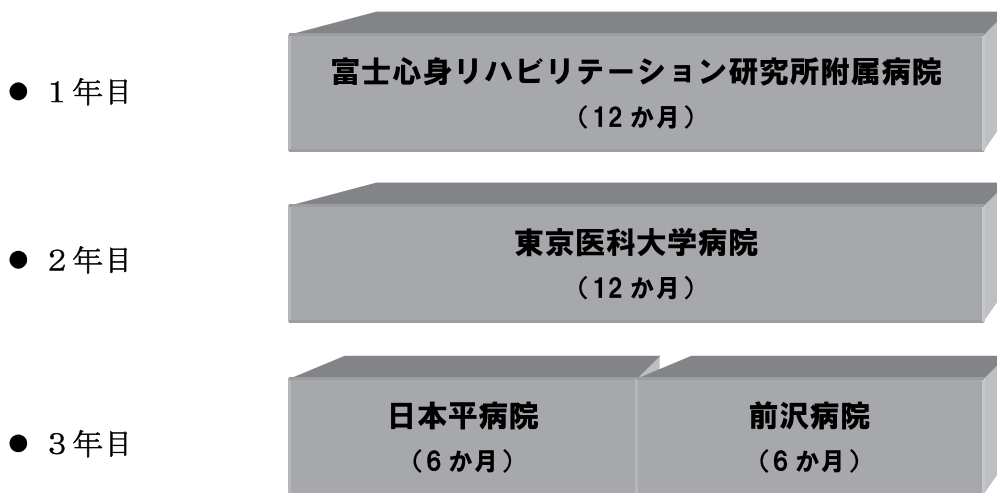
4名/年

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

ローテーションモデル（1人目の場合）



※ 3年間のローテーションについては相談に応じます。

7 問い合わせ先

担 当：一般財団法人 富士心身リハビリテーション研究所附属病院

プログラム統括責任者 院長 引場 智

電 話：0544-26-8101

E-mail：master@fujireha.org

※ 病院見学当は随時受け付けています。お気軽にお問合せください。